

枝吉だより 臨時号

神戸市立枝吉小学校
校長 木原 誠

令和6年度全国学力・学習状況調査(6年生対象)について

4月に全国の小学6年生と中学3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われました。6年生児童一人一人の結果につきましては、先日保護者の方にお渡ししましたが、学校全体の傾向や課題、それを受けて、今後力を入れていきたいことなどを報告させていただきます。

1. 学力・学習状況調査の内容

国語	45分	1 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫する問題。 2 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題。 3 登場人物の相互関係や心情の描写を基に捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付く問題。
算数	45分	1 加法や減法の問題場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表す問題。 2 問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察する問題。 3 立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察する問題。 4 日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察する問題。 5 日常生活の問題を解決するために、目的に応じて収集したデータを整理分類し、表やグラフを用いて、身の回りの事象について考察する問題。
質問紙	20分	生活の様子、学習の様子、価値観や考え方などの傾向をみるための質問。

※ □は問題番号

2. 教科の結果と分析

国語

3	三【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く。(60字以上100字以内)
2	一(2)【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する。

上記の【物語】から人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする読む力が概ね良好であるといえます。また、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うという知識技能も良好であるといえます。一方で、下記のような問題について、書く力に課題が見受けられました。

2	一(1) 高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものとして、適切なものを選択する
2	二【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く。(60字以上100字以内)

- ・設定された目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしたり、自分の考えが伝わるように書いたりすることが苦手な児童が多い。
- ・日々の読書量が少ない(読書をする習慣がついていない)ため、長文に慣れていない。
- ・複数の資料から必要な情報を選択することが苦手な児童が多い。

算 数

- | | |
|---|---|
| 1 | (2) 初めに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を式に表す。 |
| 3 | (1) 作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ。 |
| 5 | (1) 円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く。 |
| 5 | (2) 示されたデータから、1960年代のC市について、開花日が3月だった年と4月だった年がそれぞれ何回あったかを読み取り、表に入る数を書く。 |

上記の問題について基礎的・基本的な知識技能が概ね良好です。特に5の「データの活用」に対する知識理解が定着しています。一方で、下記のような問題について、思考・判断・表現力にやや課題が見受けられました。また、学習領域「変化と関係」についての課題も見受けられました。

- | | |
|---|---|
| 3 | (3) 直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く。 |
| 4 | (3) 家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。 |
| 5 | (3) 折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く。 |

- ・球の直径の長さと同様体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求めることが苦手である。
- ・道のりが等しい場合の速さについて時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに慣れていない。
- ・折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述するという経験が少ない。

3. 児童質問調査の結果

多岐にわたる項目がありましたが、次のような特徴がありました。

- ・「将来の夢や目標をもっている／人の役に立つ人間になりたい/国語の授業内容はよく分かりますか？」に「はい」と答えた児童が多い。
- ・「新聞を読んでいますか？/算数の勉強は好きですか？」に「はい」と答えた児童が少ない。

4. 神戸市学力定着度調査（4・5年対象）について

4年生・5年生で実施しました。4・5年生も6年生と同様に国語よりも算数を苦手としている傾向が、調査から明らかになりました。

5. 力を入れていきたいこと

本校では、次のようなことに取り組んでいます。

- ・図書館の環境向上に取り組み、読書の動機づけとして、読み聞かせやブックトークなどの学習活動、各クラスの学級文庫の充実を図る。
- ・学習指導員が算数の時間を中心に、全学年の学習支援にあたる。
また、「長い文章を読み、提示されている条件や題意を把握する力」「自分の考えをまとめ、分かりやすく書く（伝える）力」の育成が、ここ数年の本校の課題となっています。今後も、以下の点に重点的に力を入れて取り組んでいきたいと考えています。
- ・教科書やドリルの問題だけでなく、理解力に応じた文章問題など、長文問題にも取り組んでいく機会をつくる。
- ・すべての教科で、自分の考えをもつことを大切に扱い、表現する（書く・話す）機会をつくっていく。

生活面では、テレビ、ゲーム、パソコン（スマートフォン）に費やす時間が多くなり過ぎないように働きかけるとともに、読書等を通して読む力と豊かな心を育てていきたいと考えています。ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。